

担い手通信

JAバンクは地域の担い手を応援します

7

今月の話題

農業融資2年連続増

17年度新規3886億円

JAバンク

JAバンクの農業融資の新規実行額が2年連続で増えたことがこのほど、農林中央金庫の調査で分かりました。2017年度は前年度比12.6%増の3886億円で、目標に掲げていた3500億円を上回りました。農林中金の河野良雄前理事長は「これから新規実行額を含め、農業融資残高が増え、シェアの挽回ができると思う」と述べ、今後の増加に手応えを示しました。

JAバンクは農業や地域に貢献しようと農業融資など農業金融を強化し、JA職員らが約8万人の担い手を対象に年に1回訪問する取り組みを展開しています。部門間で連携しながら資金需要の掘り起こしに取り組んでいます。

す。

16年度の新規実行額は450億円(前年度比36.1%増)に続き、17年度はさらに拡大しました。減少傾向だった農業融資残高は16年度末に前年同期比で増転。17

7,246法人
11.3%増
(17年度)



年度末の残高は集計中です。18年度の新規実行額の目標は3800億円に設定しました。農林中金の大竹和彦専務は「国内農業融資のシェアの維持をJAバンク中期戦略の3大目標の一つに掲げている。今年度も農業融資をしっかりとやっていく」と述べました。国内にある約2万の農

国産ジビエ認証制度

今が旬
この言葉

国産ジビエ
認証制度

農水省が今年5月に制定した制度で、ジビエの安全性を保証する仕組み。一定の基準を満たした認定施設で処理したジビエは国の“お墨付き”としてロゴマークを付けて販売することができる。消費者や飲食店から寄せられるジビエの衛生面の不安を払拭(ふっしょく)し、消費拡大し農村振興につなげることを目指している。

業法人のうち、成長が見込まれる法人など、約1万人をリストアップ。17年度に金融取引したのは7246法人で同11.3%増でした。

銅水和剤と炭酸カルシウム水和剤を使用した温州ミカンの防除体系

三 重県農業研究所は、温州ミカン栽培で農薬使用回数制限の心配が少なく、薬剤抵抗性発達のリスクを低減可能な防除体系を検討しました。

黒点病に対する主要薬剤のマンゼブ水和剤は、使用回数が4回以内に制限されています。多雨などによる多発条件では防除回数が増えるため、使用回

数に制限がない銅水和剤に置き換えます。チャノキイロアザミウマに対しては、通常は化学合成農薬による防除が行われていますが、多用による薬剤抵抗性発達のリスクが懸念されます。そこで物理的効果による被害軽減が可能な炭酸カルシウム水和剤を利用し、薬剤抵抗性発達のリスクを低減します。

図に示したように、慣行防除の1〜2回を銅水和剤と炭酸カルシウム水和剤の混用に置き換えることで、黒点病とチャノキイロアザミウマに対して同等の防除効果が確認できました。今後は安定的な防除効果が得られる使用条件を解明し、実用性の高い防除体系を構築していきます。

図 銅水和剤と炭酸カルシウム水和剤を使った防除体系

体系	5月		6月		7月		8月	
	下	上	中	下	上	中	下	上
慣行			オイル 殺菌剤 殺虫剤	殺菌剤 殺虫剤	殺菌剤 殺虫剤			殺菌剤 殺虫剤
銅+炭カル (1回)	オイル		銅 炭カル	殺菌剤 殺虫剤	殺菌剤 殺虫剤			殺菌剤 殺虫剤
銅+炭カル (2回)	オイル		銅 炭カル	殺菌剤 殺虫剤	銅 炭カル			殺菌剤 殺虫剤

※銅水和剤：塩基性硫酸銅23.0%（銅として12.9%）、1,000倍希釈
炭酸カルシウム水和剤：類白色水和性粉末・45μm以下の製剤、50倍希釈

県内NEWS

(日本農業新聞より)

■ JA鈴鹿 女性大学が開校 応募者過去最多に

JA鈴鹿は5月中旬、「第6期すずか女性大学」の開校式を本店で開いた。同大学では、料理教室、家庭菜園教室、ガラスアート教室など、女子力アップを目的にした講座を年間で10回開催する。広く参加を呼び掛けるため、管内で配布される生活情報誌などで募集を呼び掛けた。今年度から講座を全て平日開催に変更し、年齢の制限を45歳から55歳に引き上げた結果、過去最高となる54人から申し込みがあった。

(2018/6/2 県版三重)

■ JA津安芸 園児が植えたジャガイモ 収穫手ほどき

JA津安芸女性部おやさいづくりサークルはこのほど、津市で津幼稚園の園児121人にジャガイモの収穫体験の指導をした。JAバンク協調型事業の一環として、食育を目的に行った。畑は同市の佐藤邦和さんが提供し、「キタアカリ」や「デジマ」約280株分を収穫した。今回収穫したジャガイモは、3月に園児が植えたもので、ジャガイモに傷を付けないように優しく株元を掘り起こすと、ジャガイモの大きさに驚き、歓声を上げていた。

(2018/6/16 県版三重)

■ JAいがふるさと 合併後初のつどい 女性の力結集

JAいがふるさと女性組織連絡協議会は6月上旬、第1回JA女性組織のつどいを開いた。JAいがほくぶとJA伊賀南部の合併後、初の開催で約100人が集まった。オープニングでは、女性組織のフラダンス教室の会員がフラダンスを披露。キューピー3分クッキングに出演している宮本和秀さんの記念講演も行った。

(2018/6/16 県版三重)

お問い合わせ先 三重県農業研究所 紀南果樹研究室 ☎ 05979-2-0008

明日の農業を担うみなさまへ
JAバンクは地域農業を応援します！

- ◆トラクターなどの農業用機械の購入資金
- ◆栽培用ハウス・畜舎など農業用施設の建設資金
- ◆その他農業経営に必要な資金

実質保証料

0円

対象期間／平成30年4月2日～平成31年3月29日

農業者の皆様のご負担金利を5年間軽減いたします。

JAバンク利子補給制度（3年間）と
当JA金利引き下げ（2年間）措置の対象となります。
利子補給および金利引き下げの適用イメージ～変動金利型の場合～

《お借入金利》 変動金利 年1%	-	《JAバンク利子補給・金利引き下げ》 年0.8%	=	実質年0.2%
---------------------	---	-----------------------------	---	---------

5年間

詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>
平成30年5月現在

※JAバンク利子補給・当JA金利引き下げ後のご負担金利は0.2%を下回らないように調整されます。
※イメージは実際とは異なる場合がございます。詳しくはお近くのJAバンクまでお問い合わせください。
※JAバンク保証料助成により、実質保証料が0円となります。